

夢を見つけ、形にできる佐賀県立多久高等学校

熱い思いで
築かれた高校

新たな時代で、
夢を形に

多久高校の前身、多久工業高校が創立された昭和38年頃は、学校数の不足と高校進学率の向上が課題とされていました。

また、工業立国を掲げていた時代でもあり、工業高校の需要が上昇。そうした時代背景の中、1期生として機械科に132人、電気科に89人が入学しました。校舎の建設と生徒の受け入れを同時に行っていたため、入学式は旧北部中学校で開催。翌年には化学工学科も設置し、日本の工業を担う人材を幅広く育ててきました。

さらに、開校から約3年間は体育の授業をグラウンド整備にあて、当時の生徒たちは石を拾い、土を入れ、地面をならしと懸命に作業。こうした草創期の先輩たちの努力で素晴らしいグラウンドが完成し、現在も生徒たちが授業・部活動で使用しています。

平成を迎えた頃には、産業界にグローバル化やデジタル化といった新たな波が到来。こうした時代の変化を受け、平成5年に情報システム科を設置し、その後、さらなる進化を求め、平成14年に多久工業高校は総合学科の多久高校へと生まれ変わりました。

多久高校の「総合学科」には4つの系列があり、将来の職業選択を視野に入れながら、生徒自身がそれぞれの系列ごとに科目を選択。さらに、社会に出てからの生き方や働き方を基礎から体系的に学べ、長く役立つ力が身に付くと、多くの生徒が集まります。

そんな多久高校のスローガンは「自分の夢を形に」。生徒たちはその言葉どおり、それぞれが主体的に将来像を描き、実現に向けて学びを深めています。

特色豊かな総合学科

多久高校総合学科には4つの系列があります。進路は例年進学・就職が約半数ずつで、資格・検定も数多く取得できます。

人文科学系列



普通科高校と同様、文系の大学や短大への進学を目指した学習のほか、看護や医療リハビリ系の大学、短大、専門学校に特化した科目も選択できます。

商業ビジネス系列



簿記、情報処理、電卓などの基礎的な商業の学習から上級資格取得を目指します。同時にビジネス現場で不可欠なソフトウェアの操作、マナーも学びます。

健康福祉系列



福祉や介護に関する幅広い知識と技術を基礎から学習。福祉のスペシャリストとして活躍するため、コミュニケーション能力も磨きます。

工業技術系列



電気、機械、電子情報、デザインといった基礎学習から、溶接、旋盤、製図、電気工事などの専門的な技術まで、実習をとおして学びます。

多久市内唯一の高校であり、「総合学科」での学びをとおして自分の将来を追求できる多久高校。

今回は、工業立国が謳われた時代に多久工業高校として創立した歴史と、近年の多久高校の姿として総合学科内で4つに分かれた専門コース「系列」や部活動などを紹介します。

